

平成 26 年度鹿児島市生物多様性地域戦略実施状況報告

I 生物多様性地域戦略の概要

1. 戦略策定の趣旨等

(1) 策定の趣旨

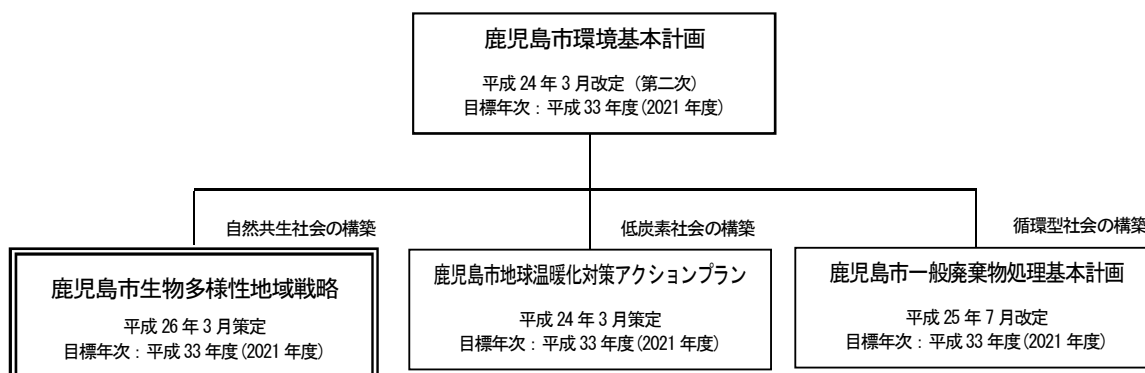
本市第二次環境基本計画に掲げる「恵み豊かなかごしまの自然を次の世代へ引き継ぐまち（自然共生社会の構築）」の実現に向けて、生物多様性の保全と持続可能な利用を総合的・計画的に進めるため、生物多様性基本法第 13 条の規定に基づき、平成 26 年 3 月に鹿児島市生物多様性地域戦略～豊かな自然かごしま生きものプラン～を策定しました。

■生物多様性の保全

様々な恵みを与えてくれる多様な生き物を、生息・生育する自然環境の多様性も含めて保全し、多様な状態を高めていくこと

■持続可能な利用

多様な生き物から受ける恵みを自分たちの世代で使い果たしてしまうことなく、節度ある利用と保全・維持に努め、次の世代に大切に引き継いでいくこと



(2) 戦略の役割

市の施策、事業活動、市民生活が生物多様性の保全に配慮したものになるように誘導・調整し、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する主体的な取組を活性化させ、市民総ぐるみで自然共生社会を築いていくための「道しるべ」の役割を果たします。

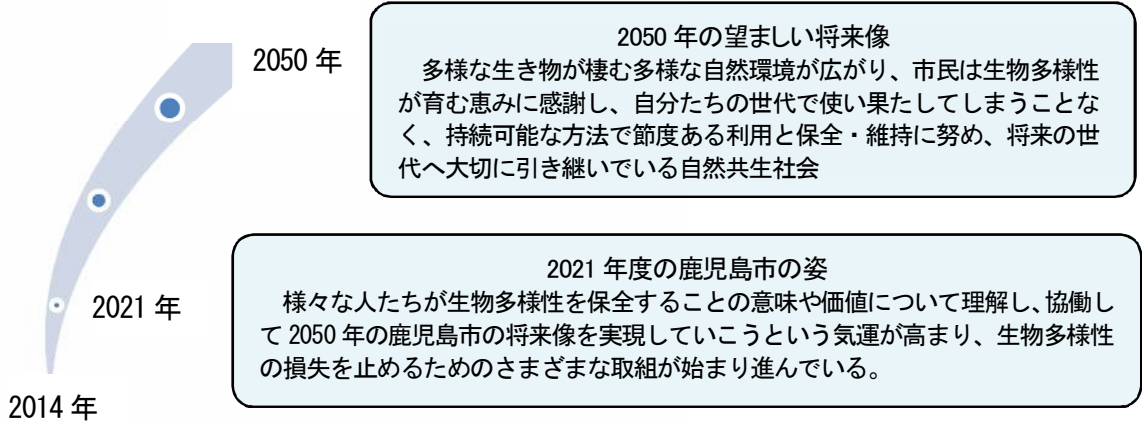
(3) 対象区域

自然・生き物のつながりを考慮し、鹿児島市域、隣接する陸域及び海域（錦江湾）を対象区域とします。

(4) 対象期間

21 世紀の折り返し地点である 2050 年を見据えつつ、第二次環境基本計画と統合的に進めることが効果的であることから、対象期間は平成 33 年度（2021 年度）までとします。

2. 施策の体系



実行計画の体系

【基本方針1】生物多様性を支える自然環境を保全・創造する

生物多様性がより豊かな方向に向かうようにするために、生物多様性を劣化させるような影響を回避・最小化して、生き物が棲みやすい自然環境を保全・創造します。

- (1) 生き物の生息・生育の場を守り育む（都市域・農山村域・水域）
- (2) 生態系をつなげ機能を高める
- (3) 評価されている自然を維持・保全する
- (4) 生き物の生息生育を脅かす要因を取り除く
 - ①外来生物の侵入・拡大の防止
 - ②環境汚染の防止
 - ③地球温暖化（ヒートアイランド現象）の防止

【基本方針2】生物多様性を支える人を育む

生物多様性を保全しながら、それといつまでも共に暮らしていくために、私たち人間が自然・生態系の中の一部として自然や他の生き物たちと共に暮らしていることに気づき、どうすべきか考え、行動する人を育みます。

- (1) 環境学習・環境教育を推進する
 - ①学習・教育の場や機会の提供
 - ②人材の育成
- (2) 自然とふれあう
 - ①自然のなかに出かける
 - ②日々の暮らしの中で向き合う

【基本方針3】生物多様性を支える社会のしくみを整える

生物多様性を意識することが社会に浸透し、事業活動や日常生活において生物多様性への配慮や保全の取組が行われてるとともに、自然・生き物が暮らしの資源、観光資源などとして持続可能な方法で利用されていく社会のしくみを整えます。

- (1) 生物多様性の意味や価値を社会に浸透させる
- (2) 生物多様性の保全活動を広げる
- (3) 情報を集積し発信する
- (4) 連携・協働により取り組む

II 取組の平成 26 年度実績

基本方針 1：生物多様性を支える自然環境を保全・創造する

(1) 生き物の生息・生育の場を守り育む

ア) 都市域

【取組の方向性】

「まちと緑のハーモニープラン」に基づき緑地の保全・緑化の推進に取り組み、そこに「生物多様性」の視点を導入します。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
緑地の保全・緑化の推進	「まちと緑のハーモニープラン（緑の基本計画）」に基づき、緑地の保全及び緑化の推進を図る。	■緑化活動の推進 ・町内会等への花苗配布（5 月、11 月） ・園芸教室の開催（6 月、10 月）	公園緑化課
		■屋上・壁面緑化の推進 ・民間建築物の屋上緑化、壁面緑化への助成（5 件、460.5 ㎡） ・公共施設の屋上や壁面緑化の実施	公園緑化課
		■緑に関するイベントの充実 ・錦江湾公園はなまつりの開催（5 月） ・四季の花情報の掲載（ホームページ）	公園緑化課
		■法面等の緑化 ・道路改良 8 路線：4,707 ㎡	道路建設課 谷山建設課
		■斜面緑地の保全 ・都市計画見直しによる斜面緑地の市街化区域から市街化調整区域への編入（4 ヶ所：52.2 ha）	都市計画課
生物多様性を高めることに配慮したまちの緑の形成	生物多様性に配慮した樹種の選定や草地等の管理に関する指針や事例集を作成する。	※後期（平成 30～33 年度）に予定	環境保全課
生物多様性を高めることに配慮した緑地管理の促進	まとまった緑地を有する大学・企業への生物多様性を高めることに配慮した緑地の管理を促進する。	※後期（平成 30～33 年度）に予定	環境保全課

イ) 農山村域

【取組の方向性】

「農林水産業振興プラン」、「森林整備計画」等に基づき農地の保全、森林の保全等に取り組み、そこに「生物多様性」の視点を導入します。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
森林の保全	木材生産のほか、水源かん養などの公益的機能を確保するため、適正な森林の保護、育成を図る。	■間伐等の実施及び支援 ・万之瀬川流域森林（3.54ha） ・甲突川、稻荷川流域森林（32.88ha） ・市有林、分収林（31.11ha） ・その他（182.65ha）	生産流通課 谷山農林課

項目	概要	26年度実績	関係課等
自然度の高い二次林の保全	自然度の高い二次林を生物多様性の視点から保全を図る。	※平成27年度に火の河原地区の生き物調査を実施する。	環境保全課
事業者などと協働の森林づくり	企業及びボランティア団体と連携し、森林の整備・保全に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ■所有者と企業等との森林管理の協定締結の推進 ■森林・林業体験イベントの開催 ■植樹祭の支援 	生産流通課
		<ul style="list-style-type: none"> ■桜島赤水採石場跡地への市民等の植樹の促進 ・申請：1団体（0.3ha、1,022本） （アラカシ、マテバシイなど） 	環境保全課
開発後の緑化の推進	森林伐採事業の終了後などに地域の自然植生を考慮した緑化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■造林事業主への助成 （苗木本数：13,430本） 	生産流通課 谷山農林課
「遊べる森」の整備と活用	里山的環境を残した森林を環境教育等の場として活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ■地域まるごと共育講座の実施 ・里山自然体験講座の開催 ■エコパかごしま里山WGの活動 	環境未来館
農地の保全と有効利用	農地流動化の促進や遊休農地バンクの普及などにより、農地の保全と有効利用を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ■農地流動化の促進 ・農地の貸借への助成（8ha） ■遊休農地の解消等 ・遊休農地バンクの運営 ・遊休農地の開墾経費への助成（0ha） 	農政総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ■土地改良事業の推進 ・水路、農道等の整備 	農地整備課 谷山農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ■農業・農村活性化の推進 ・農道改良 	農地整備課 谷山農林課
生物多様性を高めることに配慮した農業農村の整備	「農業農村整備事業における環境配慮整備指針」に基づき環境配慮型の農業農村整備を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ■土地改良事業の推進 ・環境基盤（遊歩道）整備の環境調査の実施 〔再掲〕 ■農業・農村活性化の推進 	農地整備課 谷山農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ■減農薬栽培の推進 ・環境保全効果の高い営農への支援 ・防虫資材等の導入助成 	生産流通課 谷山農林課 農政総務課
農作業体験の推進	市民が気軽に農作業を体験できる場や機会の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■市民農園の運営 ・都市農業センター（831区画） ・組合への助成（8農園520区画） 	都市農業センター 農政総務課
		<ul style="list-style-type: none"> ■グリーン・ツーリズムの推進 ・農家民泊の促進 ・活動団体等への支援 ・ガイドブックの発行 ・観光農業公園の運営 	グリーンツーリズム推進課

項目	概要	26年度実績	関係課等
		■少年自然の家での講座開催 ・ピーナツを育てよう ・寺山親子どろんこ農園 ・夏も近づく親子で茶摘み ・親子で育てようサツマイモ ・年越しそばを作ろう ・冬野菜を育てよう	少年自然の家
鳥獣被害防止対策の推進	「鳥獣被害防止計画」に基づき被害防止策を推進する。	■有害鳥獣被害対策の実施 ・電気柵等の設置、捕獲への助成等	生産流通課
千貫平草原生態系の再生	千貫平自然公園の草原生態系の保全等を行う。	■千貫平自然公園の維持管理	観光振興課 環境保全課

ウ) 水域（河川域、海域、池沼、湿地）

【取組の方向性】

自然が残るさまざまな水域を保全し、生息生育場所としての機能の向上を図ります。

項目	概要	26年度実績	関係課等
生物多様性を高めることに配慮した川づくりの推進	準用河川について、環境、治水、利水の機能を確保した川づくりのための基本方針を作成する。	■生き物の生息に配慮した護岸整備 ・魚巣ブロック等の設置（永吉川、牟礼谷川、東ヶ谷川） ・魚道の設置（木之下川）	河川港湾課 道路建設課 谷山建設課 谷山都市整備課
自然海岸・干潟などの保全	自然性の海岸は現状維持、自然性を高めることに努める。	■海岸清掃の実施	環境政策課 環境保全課
		■ウミガメ上陸海岸の保全 ・喜入地域海岸パトロールの実施 6頭上陸（うち4頭産卵）	環境保全課 喜入総務市民課
		■磯海岸浜の砂の補充	河川港湾課
河川・海域・地下水の水質保全	公共下水道や合併処理浄化槽の整備普及、排水指導などにより、生活排水や事業場排水などの汚濁負荷の低減を図る。	■事業場の排水監視の実施 ・延べ立入事業場数：273 ■公共下水道、浄化槽の整備普及 ・汚水処理人口普及率：92.38% ■河川、地下水の水質調査の実施	環境保全課 水道局
		■給餌量等の適正化の指導・啓発 ・県の魚類養殖指導指針に基づく指導	生産流通課
藻場の保全・再生	魚の餌場、産卵、稚魚の育成場となる藻場の保全等を行う。	■海藻の繁殖の支援 ・ヒジキ苗等設置への助成	生産流通課

項目	概要	26年度実績	関係課等
錦江湾の生物多様性に関する情報の収集と発信	錦江湾の生き物の現況、水質の現況などに関する情報を収集し、発信する。	■水族館による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズ「錦江湾の魚たち」展示 ・イベント「鹿児島県の魚を調べる～海にはどんな魚がすんでいるの？」 	かごしま水族館
		■錦江湾奥会議による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・環境未来館でのパネル展示 	環境保全課

(2) 生態系をつなげ機能を高める

【取組の方向性】

断片化している生態系をつなぎ、機能を高めます。

項目	概要	26年度実績	関係課等
生物多様性を高めることに配慮した川づくりの推進	河川法面の緑化、寄り洲の活用、落差の解消など、生き物が棲みやすく、利用しやすい川づくりを進める。	[再掲] ■生き物の生息に配慮した護岸整備 <ul style="list-style-type: none"> ・魚巢ブロック等の設置（永吉川、牟礼谷川、東ヶ谷川） ・魚道の設置（木之下川） 	河川港湾課 道路建設課 谷山建設課 谷山都市整備課
生物多様性を高めることに配慮したまちの緑の形成	街路樹の選定・管理方法、家庭の庭の緑など生き物が棲みやすく利用しやすいまちの緑づくりを進める。	■環境未来館による学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・講座「家庭でできるビオトープづくり！」の開催 	環境未来館
市民によるまちの緑化制度の創設	公園などの緑地の一部を市民に提供し、市民がまちの緑化の推進の担い手としての参加を促す。	■歩道緑地等の維持管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道緑地管理団体（208団体） ・花苗の配布（5月、11月） 	公園緑化課

(3) 評価されている自然を維持・保全する

【取組の方向性】

重要なものとして評価されている自然を維持・保全します。

項目	概要	26年度実績	関係課等
「大切にしたい自然」の現況調査の実施及び保全	「大切にしたい自然」として評価されている自然の現況を調査し、保全を図る。	■城山公園の自然の森再生 <ul style="list-style-type: none"> ・保全計画の策定（H26.3） ・外来種駆除の試験施工 ・園路設計（樹木保護の観点） 	公園緑化課
		■市指定保存樹等の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・保存樹（43本）（H27.4月新規指定含） ・保存樹林（12ヶ所） ・景観重要樹木（5本） 	環境保全課 都市景観課
		■自然環境保護地区の保護・管理	環境保全課

項目	概要	26年度実績	関係課等
		■喜入のリュウキュウコウガイ産地の保存管理	文化財課
希少野生動植物の保護	希少野生動植物種として指定されている生き物が生息していること、そのような状態になった原因などについて啓発する。	■広報啓発の実施 ・動物園における種の保存を目的とする世界的なイベントへの参加 「国際レッサーパンダデー」9月20～21日 「世界サイの日」9月22～23日 ・動物園での希少動物の飼育展示	平川動物公園
		・希少野生動植物保護の啓発ポスターの掲示	環境保全課
		■ウミガメの保護 ・捕獲及び卵の採取の規制	環境保全課
将来に残したい「自然百選」の選定	将来に残したい自然を「自然百選」として選定し、公表する。	■かごしま自然百選の選定及び公表 ・応募：304件	環境保全課
生物多様性保全スポット（仮称）の指定	生物多様性を保全するうえで重要な場所を指定し、公表する。	※後期（平成30～33年度）に予定	環境保全課

(4) 生き物の生息・生育を脅かす要因を取り除く

ア) 外来生物の侵入・拡大の防止

【取組の方向性】

市民が外来生物について広く認知し、駆除の取組なども行われ、外来生物の新たな増加はなくなっている状況をつくります。

項目	概要	26年度実績	関係課等
外来生物についての普及啓発	外来生物について適正な管理方法や駆除等について広報する。	■特定外来生物の広報 ・「オオキンケイギク」のポスター掲示 ・マングース情報の提供依頼	環境保全課
生態系等に影響を与える外来生物の駆除	人の健康、生態系等に影響を与える外来生物について、必要な駆除を行う。	■外来生物の駆除 ・ハイイロゴケグモ（マリンピア喜入） ・ヤンバルトサカヤスデ ・地域まるごと共育講座におけるオオクチバス、ブルーギルの駆除（松元ダム）	健康総務課 環境衛生課 環境未来館
ペットの遺棄の防止	ペットの遺棄を防止するため、命の大切さや生態系への影響に配慮したペットの適正な飼養方法の普及を図る。	■犬猫等飼養者への適正飼養の啓発 ・町内会へ適正飼養啓発チラシの送付 ・広報紙やホームページでの啓発 ・動物愛護フェスティバルの開催 ■野良猫対策の実施 ・観光地等に生息する猫の手術活動への不妊去勢手術費の助成	生活衛生課

イ) 環境汚染の防止

【取組の方向性】

廃棄物の適正処理、農薬などの化学物質の適正な使用・管理を行います。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
廃棄物の適正処理の徹底と美化活動の推進	廃棄物の適正処理の指導・啓発を徹底し、清掃美化活動などのこれまでの取組を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ■廃棄物の適正処理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・監視パトロールによる未然防止（不法投棄発見数：240 件） ■まち美化活動への支援と団体認定 <ul style="list-style-type: none"> ・まち美化活動支援：291 団体 ・まち美化推進団体の認定：226 団体 	廃棄物指導課 環境衛生課
化学物質などの適正な使用及び管理	化学合成農薬や化学物質などの適正な使用管理を進めるとともに、油や汚水などの漏洩・流出の未然防止に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ■化学物質の適正管理の指導 <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質適正管理指針の周知 ・水質汚濁防止法に基づく指導 	環境保全課
		<ul style="list-style-type: none"> ■化学肥料等の適正使用の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・農作物栽培暦、防除暦の作成、生産者への指導 	生産流通課
河川・地下水の水質保全	家庭や事業所からの排水などの適正な管理がなされるように事業者などに啓発・指導などを行い、河川・地下水の水質を保全する。	(再掲) <ul style="list-style-type: none"> ■事業場の排水監視の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・延べ立入事業場数：273 ・ゴルフ場排水の監視 ■公共下水道、浄化槽の整備普及 <ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理人口普及率：92.38% ■河川、地下水の水質調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物に係る環境基準調査 	環境保全課 水道局
化学物質の影響などの情報の収集と広報啓発	生物多様性への影響などに関する情報収集を行い、広報する。	<ul style="list-style-type: none"> ■環境への排出量等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の環境排出量の集計・公表 ・「かんたん化学物質ガイド（環境省作成）」の配布 	環境保全課

ウ) 地球温暖化（ヒートアイランド現象）の防止

【取組の方向性】

「地球温暖化対策アクションプラン」の継続的な推進により、地球温暖化による生態系や生き物への影響が緩和されている状況をつくります。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
地球温暖化の防止	地球温暖化対策アクションプランを推進する。	■地球温暖化対策アクションプランの推進	環境政策課
地球温暖化による影響調査	気温の現況、生態系や生き物への影響などに関する情報収集等を行う。	※後期（平成 30～33 年度）に予定	環境保全課

基本方針 2. 生物多様性を支える人を育む

(1) 環境学習・環境教育を推進する

ア) 学習・教育の場や機会の提供

【取組の方向性】

かごしま環境未来館を中心に環境学習等を推進し、そこに自然体験、生物多様性分野の講座等を追加・拡充します。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
自然体験など生物多様性についての学習の機会の提供	各施設で行われる講座、研修などの中に生物多様性の視点を盛り込む。また、図書館などで情報の提供を行う。	■環境未来館による学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・環境未来館講座 <ul style="list-style-type: none"> 「甲突川いきものウォッチング」 「自然遊歩道めぐり（寺山自然遊歩道）」 ・甲突川リバーフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> 「川の生きものをさがそう」 ・地域まるごと共育講座 <ul style="list-style-type: none"> 「甲突川源流ウォーク」、「里山自然体験」、「松元ダム外来魚駆除体験」 ・グリーンファームでの宿泊体学習 	環境未来館
		〔再掲〕 ■グリーン・ツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム「グリーンファームの動植物図鑑を作ろう！」など 	グリーンツーリズム推進課
		■都市農業センターによる収穫体験 <ul style="list-style-type: none"> ・親子茶つみ体験（4月） ・たまねぎ、ウメ収穫体験（5月） ・ヤマモモ収穫体験（6月） ・ブルーベリー収穫体験（7～8月） ・サツマイモ収穫体験（11月） ・キンカン収穫体験（12月） 	都市農業センター
		■動物園による学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・飼育係のお話（毎月） ・飼育の日（4月19日） ・サマースクール（小学生） ・大人のための飼育体験教室（高校生以上） ・飼育体験教室（小学生以上） ・野鳥観察会 	平川動物公園
		■水族館による学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクきびなご塾 ・いおっ子海っ子体験塾 ・水族館アクアラボ ・特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「エビ・カニにさわってみよう」 「『Mr.ストーンフィッシュ』をさがしだせ」 「光るサンゴとギャラリートーク」 ・シリーズ展示「錦江湾の魚たち」 ・イベント「鹿児島県の魚を調べる～海にはどんな魚がすんでいるの？」 	かごしま水族館

項目	概要	26年度実績	関係課等
自然体験など生物多様性についての学習の機会の提供	各施設で行われる講座、研修などの中に生物多様性の視点を盛り込む。また、図書館などで情報の提供を行う。	■観察園等の活用 ・ホタルを見る夕べの開催（健康の森公園）	公園緑化課
		■生物多様性関連図書の整備 ・57冊（一般：25、児童：32）	図書館
		■青少年の自然体験の実施 ・「ファミリーアドベンチャーinいおうじま」 ・宮川野外活動センター自主事業（5回） ・青少年ふれあい交流・体験活動（1泊）	青少年課
		■地域公民館による学習の推進 ・親子植物採集教室	中央公民館
		・親子植物採集	鴨池公民館
		・親しもう！ふるさとの四季の草花	城西公民館
		・親子植物採集教室	谷山市民会館
		・夏休み親子で植物採集	吉野公民館
		・親子で川の生き物をさがそう ・親子で魚釣りに挑戦	伊敷公民館
		・田上川調べ歩き ・親子で学ぶ植物採集	武・田上公民館
		・親子ふれあい教室（川あそび）	吉田公民館
		・おはなし会「大正噴火から100年を迎えた桜島」 ・桜島カヌー教室 ・桜島まるごと自由研究	桜島公民館
		・親子アウトドア教室 ・歴史と自然を感じるウォーキング	松元公民館
		・秋の三重岳ウォーク	郡山公民館
		・永田川冒険塾 ・谷北子ども体験塾 ・親子ふれあい植物採集講座	谷山北公民館
		■少年自然の家による体験の推進 ・わくわくアドベンチャーin硫黄島 ・夏休み親子クラフト教室 ・ワイルドキッズⅠ・Ⅱ ・真冬の自立キャンプ	少年自然の家
		■環境未来館による推進 ・講師派遣 原良小「甲突川探検隊になろう」など	環境未来館 学校教育課
■学校版環境ISOの推進 ・認定校118校	環境保全課 小中学校		
■理科等での体験的な活動の実施 ・環境教育指導資料「やってみよう環境教育」の活用促進 ・プールの生き物観察会の実施	学校教育課 小中学校		

項目	概要	26年度実績	関係課等
		■水道、下水道のしくみの広報 ・浄水場及び下水処理場の施設見学 ・夏休み親子水教室（水道） ・下水道展かごしま ・水の再生工場探検（下水道）	水道局
市民参加による調査などの実施	夏休みなどを活用して、生き物観察会や市民一斉生き物調査などを実施する。	〔再掲〕 ■生き物観察会等の開催 ・環境未来館、各公民館ほか	環境未来館 各公民館ほか
身近な自然や生き物に関する情報の収集・発信	市民から写真・絵などを収集し、イベントなどで広く発信する。	■環境未来館による情報発信 ・環境フォトコンテストの開催	環境未来館
生物多様性に関する教材の整備	鹿児島市の自然や生き物、暮らしとの関係などについて学習できる教材を整備する。	■生物多様性関連図書等の整備 ・環境未来館（学習機材、図書） ・図書館（図書） ・水族館（標本、写真・動画、教材）	環境未来館 図書館 かごしま水族館

イ) 人材の育成

【取組の方向性】

学習・教育活動を支える人材を育むとともに、市民が生物多様性について知り、理解する機会を増やすことを通じて、行動を起こす市民を育みます。

項目	概要	26年度実績	関係課等
教員などを対象とした研修の実施	教員などを対象として生物多様性を絡めた環境学習の実践方法の研修を行う。	■研修の実施と支援 ・環境未来館講座「先生のための環境学習セミナー」の開催 ・水族館での研修プログラムの提供 ・環境教育研修の情報提供	環境未来館 水族館 学校教育課
親世代への研修の実施	食育や生き物とのつきあい方、いのちの教育など生物多様性に関連した環境学習の実施を親世代に促す。	■研修の実施 ・動物園大人のための飼育体験教室	平川動物公園
		・水族館ボランティア学習会（10回） ・水族館大人のための飼育体験（2回） ・水族館幼保教員飼育体験（1回）	かごしま水族館
		・食育教室（3回） ・郷土料理教室（5回） ・親子郷土料理教室（5回）	保健予防課
		・家庭教育学級、父親セミナー、女性学級、成人学級での実施 ・「我が家の食育」をテーマとした研修会の開催 ・家庭菜園実習入門	生涯学習課 鴨池公民館 松元公民館
自然体験活動リーダーの育成	生物多様性の保全に関する知識と技術を持った人材を養成する。	■人材の育成 ・ネイチャーゲームリーダー養成講座の開催（鹿児島市内）	（事業者）

項目	概要	26年度実績	関係課等
自然体験アーカイブ事業	自然に関する昔話や草花遊びなどについて、次世代に伝える機会を講座などで設ける。	■環境未来館による推進 ・ミニ企画展「あつまれキッズむかしをあそぼう」	環境未来館
人材バンクの整備	生物多様性を支える人材を登録・派遣できるしくみを構築する。	■講師登録及び派遣	環境未来館

(2) 自然とふれあう

ア) 自然のなかに出かける

【取組の方向性】

野山や海、川へ出かけ、楽しむことを通して自然の恵みを実感し、生物多様性を保全していこうとする市民を育成します。

項目	概要	26年度実績	関係課等
グリーン・ツーリズムの推進	グリーン・ツーリズム推進計画に基づき農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ活動を推進する。	[再掲] ■グリーン・ツーリズムの推進 ・農家民泊の促進 ・活動団体等の支援 ・ガイドブックの作成 ・観光農業公園の運営	グリーンツーリズム推進課
自然体験の推進	野山、海、川などの自然、生き物とふれあう機会を増やす。	[再掲] ■かごしま自然百選の選定・公表 ■自然遊歩道の紹介（7ヶ所9コース） ■自然を体験観察できる施設の管理運営 ・海水浴場 ・キャンプ場 ・観光農業公園 ・冒険ランドいおうじま ・宮川野外活動センター ・少年自然の家 ・市民農園 ・自然観察園（健康の森公園） ・水生植物園（都市農業センター）	環境保全課 各課
		[再掲] ■自然体験、農作業体験講座等の開催	環境未来館ほか
		■環境未来館による学習の推進 ・講座「家庭でできるビオトープづくり！」 ■ビオトープの創出 ・遊休農地でのビオトープ創出	環境未来館 (市民活動団体)
ビオトープの創出	水生昆虫など生き物の棲みかとなるビオトープを創出し、市民が生き物とふれあえる場とする。	■環境未来館による学習の推進 ・講座「家庭でできるビオトープづくり！」 ■ビオトープの創出 ・遊休農地でのビオトープ創出	環境未来館 (市民活動団体)
自然ふれあい情報の集約発信	自然体験イベント、四季のお出かけ情報などを集約し、ホームページや広報紙で発信する。	■情報の発信 ・環境未来館ホームページ ・環境未来館だよりの発行 ・四季の花情報の掲載（市ホームページ）	環境未来館 公園緑化課

イ) 日々の暮らしのなかで向き合う

【取組の方向性】

日々の暮らしのなかで四季を感じ、旬の恵みを楽しむことなどを通して、生物多様性の保全について理解する機会を提供し、日々の暮らしの中で生物多様性を意識していく市民を育成します。

項目	概要	26 年度実績	関係課等
食育の推進	食育推進計画に基づき、食べ物を通して季節感を考える機会を提供すると共に、地産地消や郷土料理の普及、もったいないの気持ちを育む。	■食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による郷土料理、地産地消レシピの紹介 ・市民のひろばへの郷土料理レシピの掲載 ・食育推進ネットワークの連携強化 ・関係団体等の食育実践活動への支援、助言 	健康総務課
		[再掲] ■食育教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・食育教室 (3 回) ・郷土料理教室 (5 回) ・親子郷土料理教室 (5 回) 	保健予防課
		■農林水産物の地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市内産農産物旬のキャンペーン (3 回) ・食の産地交流会 (3 回) ・旬のクッキング教室 (2 回) ・暮れの市 (1 回) ・美味のまち春の宴 (1 回) ■特産農産物のPR <ul style="list-style-type: none"> ・桜島ダイコン、桜島小ミカン、ニガウリなどの県外イベント等でのPR 	生産流通課
		■学校給食での推進 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土料理、日本の伝統食、四季の行事食、旬の素材を使った季節料理の提供 ・「かごしまをまるごと味わう学校給食」週間 (1 月) の設定 	保健体育課
季節行事や伝統行事の普及	菖蒲湯やお月見のスキなど季節行事やそれを行う地域等を紹介し、普及を図る。	■季節行事の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・鯉のぼり飾り、七夕飾り、子ども教室「正月飾りづくり」、「餅つきをしよう」等のイベント体験学習の開催 	ふるさと考古歴史館
あらゆる機会を捉えた生物多様性の普及	消費者教育などあらゆる場面を捉え、生物多様性の保全についての情報を発信する。	■あらゆる機会を捉えた普及 <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活エキスポ ・サンエールフェスタ ・鹿児島湾奥会議 	環境保全課 消費生活センター 生涯学習課
暮らしに影響を与える生き物への適切な対応	暮らしに影響を与える生き物への対処方法の周知と大量発生しないような環境づくりを進める。	■広報啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤンバルトサカヤスデのまん延防止 	環境衛生課
タネ銀行制度の設立	種から発芽させる喜び、好奇心を育み、緑化を進めるため、種の収穫・配布等を行う制度を設立・運用する。	※平成 25 年度に試行実施	環境保全課 (市民活動団体)

基本方針3. 生物多様性を支える社会のしくみを整える

(1) 生物多様性の意味や価値を社会に浸透させる

【取組の方向性】

地球温暖化のように一般化に至っていない「生物多様性」への認識を高めます。

項目	概要	26年度実績	関係課等
広報の活性化	生物多様性の重要性や保全の意義等を広報する。	■広報の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・地域戦略概要版の配付 ・生物多様性保全活動の企画提案の公募 ・かごしま自然百選の公募 ・環境月間企画展でのポスター等の掲示 [再掲] ■あらゆる機会を捉えた普及 <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活エキスポ など 	環境保全課 環境未来館 消費生活センター
国際生物多様性の日を契機とした普及啓発事業の展開	国際生物多様性の日(5月22日)を契機に生物多様性の保全活動や広報啓発を集中的に実施する。	■国際生物多様性の日の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、ポスターの掲示 【普及啓発イベント】 <ul style="list-style-type: none"> ・「いおの日」お魚料理教室 ・春を満喫! 青果市場フレッシュツアー ・講座「甲突川生き物ウォッチング」 ・錦江湾魅力再発見クルーズ ・グリーンファームの動植物図鑑を作ろう! ・生物多様性図書展～生きものつながる～ ・食育教室 	環境保全課 魚類市場 青果市場 環境未来館 船舶局 グリーンツーリズム推進課 図書館 保健予防課

(2) 生物多様性の保全活動を広げる

【取組の方向性】

生物多様性を保全する、また生物多様性に貢献する事業活動や市民活動団体、市民などの取組を社会全体に広げます。

項目	概要	26年度実績	関係課等
生物多様性を高めることに配慮した活動の拡大	生物多様性を高めることに配慮した事業活動や生物多様性の保全活動などを拡大する。	■環境未来館による活動の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域まるごと共育講座 ・登録団体、サテライト団体制度 ・ホームページでの活動紹介 ・サテライトガイドブック配布 	環境未来館
		■市民活動団体等の企画提案に基づく生物多様性保全活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市内のチョウなどの昆虫の生息情報収集、整理及び公表 ・桜島渚海岸、水族館での観察会、ネイチャーゲーム等の開催 	環境保全課

項目	概要	26年度実績	関係課等
		〔再掲〕 ■生物多様性の視点の導入 ・城山の固有種の生育を阻害している外来種の試験的駆除 ・城山の園路が浸食され、水が溜まることで木が根から腐朽する恐れがあることを踏まえ、樹木保護の観点から整備する園路の設計 ・都市計画定期見直しでの斜面緑地の市街化区域から市街化調整区域への編入（4ヶ所）	公園緑化課 都市計画課
生物多様性の保全に配慮した製品などの利用の拡大	生物多様性の保全に貢献できる商品として、伝統野菜、地元産野菜、間伐材・竹製品、炭などの利用の拡大を図る。	〔再掲〕 ■特産農作物のPR	生産流通課
		■情報収集 ・生物多様性に配慮した製品等の認証制度等に関する情報の収集及び提供 ■製品の利用 ・竹紙での印刷物の発注	環境保全課
農林水産業の振興	既存従事者の支援と担い手の育成、捕獲従事者の育成・確保を図る。	■農業担い手の育成 ・農業後継者対策としての農業青年クラブの活動に対する助成 ・認定農業者等の担い手の確保、育成及び経営の改善 ・地域営農システムに取り組む地域の話し合い活動の促進等 ・農業機械バンク創設に向けた農村地域での遊休機械の状況調査	農政総務課
		〔再掲〕 ■有害鳥獣被害対策の実施	生産流通課
有効資源としての生態系サービスの持続的な利用	持続可能な資源である生態系サービスについて利用の拡大を図る。	■桜島・錦江湾ジオパーク活動の推進 ・ジオに関する活動の展開、情報発信	ジオパーク推進室
		■景観計画に基づく良好な景観の形成 ・景観形成重点地区の指定 八重の棚田地区（H25.10.1指定） 磯地区（施行：H26.4.1指定）	都市景観課
		■地域づくりの支援 ・町内会が実施する住民同士の親睦交流を目的とする地域まちづくり事業等への支援 ・地域まちづくりワークショップの活動支援	地域振興課 支所総務市民課
		〔再掲〕 ■グリーン・ツーリズムの推進	グリーンツーリズム推進課
		〔再掲〕 ■かごしま自然百選の選定	環境保全課

(3) 情報を集積し発信する

【取組の方向性】

生物多様性の現況や取組の実施状況などの情報を集積し、広く発信します。

項目	概要	26年度実績	関係課等
モニタリング調査の実施	市内に生息する動植物についてモニタリング調査を実施する。	※平成27年度に南部地域の生き物調査を実施する。	環境保全課
行動・意識調査の実施	生物多様性の認知度などに関する意識調査を行う。	※平成27年度に「まちかどコメンテーター事業」により生物多様性の意識調査を実施する。	環境保全課 市民協働課
データベースの整備	生き物に関する情報、生き物とふれあえる場所に関する情報などをデータベース化し公開する。	■自然環境マップ（電子地図情報システム）の提供 ・生き物生息情報等の登録、情報発信	環境未来館 環境保全課
情報の発信	シンポジウム、写真展などを開催し、生物多様性に関する情報を発信する。	[再掲] ■自然環境マップの提供	環境未来館 環境保全課
		■環境未来館による推進 ・地域まるごと環境フェスタ in 郡山 ・環境フォトコンテスト ・環境子どもサミット	環境未来館
生物多様性レポート（仮称）の発行	地域戦略の実施状況をまとめ、公表する。	※平成27年度に26年度実績をまとめ、公表する。	環境保全課
生物多様性の保全に関する活動発表会等の開催	事業者、研究者・学生などが行っている研究、活動の成果等を広く周知する場として、発表会を開催する。	※平成27年度以降に実施予定	環境保全課 (事業者) (市民活動団体) (教育機関)

(4) 連携・協働により取り組む

【取組の方向性】

様々な主体が連携・協働し、それぞれの長所を活かしながら生物多様性を高めるしくみを構築します。

項目	概要	26年度実績	関係課等
連携・協働による事業実施	市民、事業者、市民活動団体、大学などと連携・協働し、モニタリングや生物多様性を高めるための事業を実施する。	■環境フェスタかごしまの開催	環境未来館
		[再掲] ■市民活動団体等の企画提案に基づく生物多様性保全活動の推進 ・市内のチョウなどの昆虫の生息情報収集、整理及び公表 ・桜島渚海岸、水族館での観察会、ネイチャーゲーム等の開催	環境保全課

項目	概要	26年度実績	関係課等
		〔再掲〕 ■環境未来館による推進 ・地域まるごと共育講座	環境未来館
他自治体、関係機関等との連携強化	環境省や他自治体、関係機関などと連携した活動を行う。	■生物多様性自治体ネットワークへの参加・交流 ■関係機関等との連携	環境保全課
ワークショップの開催	生物多様性について意見交換を行うため、市民参加型のワークショップを開催する。	※後期（平成30～33年度）に予定	環境保全課